

平成 22 年度第 1 回富山県環境審議会水環境専門部会 議事録

1 日時

平成 22 年 8 月 26 日 (木) 午前 10 時 ~ 11 時 40 分

2 場所

富山県民会館 704 号室

3 出席者

委員：楠井専門部会長、小池特別委員（代理：宮島富山河川国道事務所河川環境課長）、
木幡専門員、高橋専門員、千葉専門員、陶野専門員、藤縄専門員

事務局：堀生活環境文化部次長、浦田環境保全課長 他

4 内容

議事

庄川水域等に係る環境基準の水域類型の指定の見直しについて

5 主な意見、質疑応答

見直しの基本的な考え方について

[専門員] 現況水質が上位類型相当の水質を継続的に達成している水域かどうかを判断する場合、事務局案では B 類型以下の水域については「7 年間以上」、A 類型の水域については「12 年間以上」安定して上位類型相当の水質を達成していることとしている。21 年度の見直しの検討では「6 年間以上、11 年間以上」、今年度は「7 年間以上、12 年間以上」とすると、将来、再度見直しを検討する際に混乱が生ずるおそれがあるので、基本的な考え方としては国と同じ「5 年間以上、10 年間以上」とした方がよいのではないかと。

[事務局] 事務局において 20 年度及び 21 年度に実施した基礎調査では、国の考え方に準じて 19 年度までの「5 年間以上、10 年間以上」の水質を確認した。その後、事務的に最新データを追加して、専門部会資料として提示している。ご指摘のとおり、基本的な考え方としては「5 年間以上、10 年間以上」に修正し、実際の検討では 7 年間、12 年間の水質を確認することとしたい。

[専門員] 21 年度にとりまとめた報告書「小矢部川水域等に係る環境基準の水域類型の指定の見直しについて」に関して、環境審議会への報告時に意見はあったか。そのほか、県民等から意見があったか。

[事務局] 環境審議会への報告時には、特に意見はなかった。県民等からも、事前に行ったパブリックコメント以外に、特に意見はなかった。

[専門員] ある特定の短期間だけ非常に濁った水が流れる河川であっても、通常の水質が良好であれば、この基本的な考え方に基づき、類型を上位に見直すことになるが、このような河川個別の特殊な事情はどのように取り扱うのか。

[事務局] ご指摘のとおり、一時的に非常に厳しい状態になる河川など様々な河川があるが、河川の水質環境基準の達成状況については、環境省の通知に基づき、通常の状態の評価することとされている。河川個別の事情についてはある程度考慮する必要があると考えるが、水域類型指定の見直しの検討にあたっては、通常の状態における水質を評価することとしたい。

水域類型指定の見直しの基本的な考え方については、一部修正のうえ了承された。

水域類型指定の見直しを検討する水域の抽出について

水域類型指定の見直しを検討する水域の抽出については、原案のとおり了承された。

水域類型指定の見直しについて

[専門員] 月別 B O D 測定値の上位類型達成割合が 8、9 年前に 10/12 を満足していないことから水域類型を見直さないとした現在 A 類型の水域について、今後 2、3 年程度 10/12 を満足すれば、類型指定を見直すことになるのか。それとも、A A 類型に見直すのは特に慎重に検討することとなるのか。

[事務局] 基本的には、とりまとめられた見直しの基本的な考え方に基づいて、見直しを検討することとなる。事務局としては、環境基準達成率 100% の状況を大切にしたいと考えており、1 年でも上位類型相当の水質を達成していなければ、見直さずに慎重に状況を見ていくこととし、必要な水域については見直しを検討してまいりたいと考えている。ただし、A 類型から A A 類型への見直しは、最高クラスの類型への見直しなので、河川の利用のあり方等も勘案して慎重に検討していく必要があると考えている。

[専門員] 高橋川と吉田川の水域類型指定を見直さない理由については、予測に不確定性があるとするなど、もう少し表現を検討する必要があるのではないかと。

[事務局] 修正を検討する。次回、報告書素案として、再度ご審議いただきたい。

[専門員] 例えば、和田川では、特異的に B O D が高くなっている時期があるが、この原因は何が考えられるのか。

[事務局] 和田川で B O D が高くなる時期があることについては、現行類型の基準を達成していることもあり、原因は把握していない。他の河川についても、一部に降雨の影響と推測できるものがあるが、B O D 等が高くなったことの原因は明確につかんでいない。

[専門員] 末端に工場排水等が流入している場合は、河川での希釈の程度によって濃度が変わるので、河川流量と負荷量との相関のようなデータがあれば、ある程度検討がつくのではないかと。

[事務局] ご指摘の相関のデータについては、整理が難しいため、今後の課題として検討してまいりたい。

[専門員] 下水道終末処理施設の排水口の位置や、整備されている下水道が分流式か合流式かなどの情報があれば、今後どのような対策が必要なのかなどの建設的な議論ができる。

[事務局] 排水口の位置については、今後、必要な資料を提示してまいりたい。また、高岡市と富山市の一部に合流式下水道があるが、今年度審議予定の河川の流域には、合流式下水道はない。

[専門員] B O D 等が高くなったことの原因については、過去の原因を特定することは難しいが、異常値が観測されたその都度、できる範囲で究明する必要がある。

また、河川流量や、取水又は排水の地点とその水量、工場の排水処理方法などを把握、整理しておけば、明確には分からないかもしれないが、おおよその見当がつき、将来に向けての検討材料になるので、今回の見直しの検討とは別に整理すべきと考える。

和田川、上市川、鴨川、片貝川下流、高橋川及び吉田川の水域類型の指定の見直しについては、原案のとおり了承された。

4 専門部会報告書骨子案について

専門部会報告書骨子案については、原案のとおり了承された。

以上、議事内容に相違ありません。

